

8-6-3 CPD委員会

1. 主な活動の記録

(1) CPD 委員会の開催

委員会開催回数：12回

(2) 主な内容

平成28年度の委員会活動は主に、①「CPD 監査」の実施と監査結果の分析及び今後の監査方針の決定、②CPD ガイドライン、CPD 解説書の改定、③協会会員のCPD 取得支援の3点を中心に委員会活動を行った。

a) CPD 監査の実施と監査結果の分析

CPD 記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。CPD 記録登録状況のうち、分野別登録状況では専門技術分野が75%を占めており、昨年度の70%よりさらに偏りが大きくなった。形態別登録状況については、昨年に比べ業務経験の比率が7%増加し、技術指導が5%減少するなど、教育プログラムの選択傾向に変化が見られた。

平成23年度から監査を実施しているが、平成28年度監査における何らかの指摘、修正を要する総指摘数は399(総記録数の17.5%)と昨年度比率の20.6%に比べ減少した。また、取得単位に最も影響を及ぼす削除要求の比率は、総記録数2,280記録に対し1.3%であり、昨年度3.8%に比べ大幅に減少した。特に、平成27年度監査では「非認定プログラムの係数を「1」としている」が総指摘数に対し4.4%と多かったが、新システム導入により解消されるなど、申請記録の登録が概ね適正に行われていると判断できる。

b) CPD ガイドライン、CPD 解説書の一部改定

現行のCPD 対象範囲は、建設コンサルタント技術者の技術研鑽に関連する記録を登録対象としてきたが、近年の業務の総合化・複雑化に伴い総合的な技術力が必要となってきたことから、マネジメントに関連する内容についてもCPD 対象とするものとし、CPD ガイドライン(第2版)及び解説書(第2版)の一部を

改定した。

c) 協会会員のCPD 取得支援

協会会員のCPD 取得を支援するため、DVD やWEB等のメディアを活用することにより、多くの会員に利用していただくことを目的に検討を行った。今年度は、①第22回設計技術者のための地盤技術に関する講演会(3.15時間)、②PPP/PFI セミナー2016「インフラ分野の官民連携(PPP/PFI)の取組みの拡大に向けて」(2.26時間)、③平成28年度道路・交通安全専門委員会セミナー「ラウンドアバウトの持つ機能と価値」(1.36時間)、④平成28年度海岸・海洋セミナー「地形・地質などの地域環境を踏まえた沿岸域管理のあり方」(2.38時間)のDVD4枚を作成し、会員各社に無料配布した。また、WEB上でセミナー動画を視聴できるシステムを構築し、①第22回設計技術者のための地盤技術に関する講演会のセミナー録画動画について、協会ホームページ上で視聴できるようにした。

(3) CPD 記録申請等

①CPD 記録申請者数

平成28年度：119,353人

平成27年度：108,641人

平成26年度：81,544人

② CPD 記録申請件数

平成28年度：331,600件

平成27年度：315,100件

平成26年度：348,800件

③CPD 証明書発行件数

平成28年度：5,362件

平成27年度：4,978件

平成26年度：5,753件

2. 次年度の活動について

平成29年度の委員会活動は主に、①「CPD 監査」の実施と監査結果の分析及びCPD 監査の効率化に向けた検討、②CPD 制度、CPD システムの定着、③協会会員のCPD 取得支援の3点を中心に委員会活動を行う。

(CPD委員会委員長 光森 泰紀)